

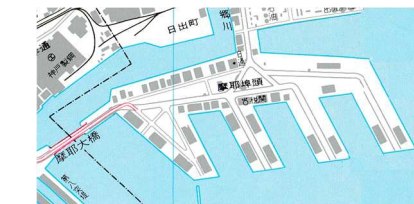
## 29. 西灘駅周辺の「イチ押し産業遺産」

### ＜摩耶埠頭＞

西灘駅の約 800m 南に摩耶埠頭があります。着工が昭和 34 年、完成が昭和 42 年 3 月（奇しくも神戸開港から 100 年目の年）です。左上の図は昭和 58 年時点です。

コンテナ輸送はアメリカで昭和 34 年に始まり、国際コンテナ海上輸送サービスは昭和 41 年より活発となりました。昭和 42 年 9 月にこの摩耶埠頭よりコンテナ船（米マトソン社、HAWAIIAN PLANTER 号）がアメリカに向けて出港し、これが日本におけるコンテナ輸送の始まりです。日本の最初のコンテナ船は日本郵船箱根丸で、昭和 43 年 8 月にこの摩耶埠頭よりアメリカに向けて処女航海に出ました。

時代は進み、輸送量の増大とコンテナ船の大型化に伴い、六甲アイランドとポートアイランドにガントリークレーンを備えた大型コンテナ埠頭が整備され（昭和 56 年および 57 年完成）、摩耶埠頭はコンテナ埠頭としての役割を終えました。平成 9 年からは順次埋め立てが進められ、現在は左下図(GoogleMap)のように、良好なアクセスを活かした流通業務地区になっています。（畑 啓之 記）



注) 図は、昭文社 日本地図帳 木内信蔵監修 1983年、ならびに Google map より引用